

橋野史跡めぐり 第一回(南部より)橋小サカ部児童父兄

橋小第一校歌碑

橋は美さ之、花さ之その葉さ之 (第四十三代) 元正天皇御製

枝に霜降れば いや常盤の木 (万葉集一。九番の歌)

(A) 御製をおまに存(三)ゆきさつ (奈良時代)

(1) 橋氏の祖先である諸兄は第三十代敏達天皇の五代目の孫で葛城王と  
呼ばれる皇族であった。

(2) 皇族は天皇から五代目になると一般国民に下られるのが例であったので  
天智八年(七三六) 第百五十五代聖徳天皇の時国民に下られる式があり天皇から  
橋という姓を授けられた。

(3) 式後聖徳天皇、光明皇后、元正上皇の三人で将来も橋氏が深えるようお祝の  
宴がありそこで元正上皇が橋氏の繁栄を祈る歌をおまに存したもの

(4) 大正十一年当時の橋小校長山口良吾先生は学制五十年の祝としてこれを校  
歌にさあがれた。

(B) 第三校歌 昭和四十九年橋小学校一。年祭の時第三校歌が出来た

(1) 「昇る朝の日 万葉の心を語る 杵島山」 最初の歌。三

(2) 杵島山は日本で三つの歌垣の一つで万葉集に次の歌がのっている

「あられ降る、杵島が岳をさかみと、草敷かかねて妹が手をとる。  
(妹、昔のことは、夫婦の夫のこと)

夫婦仲よく手をとり合って杵島山にのぼり歌垣に参りて楽しんで

(3) 旧校門前の記念碑(領徳碑と記念碑の二つの石柱) 大正十一年山口校長  
。領徳碑 偉人のりつはな行をほめたたえる碑 (八人の偉人の名)

(1) 誠忠の鑑 橋奈良良彦さんは忠義のお手本である

(2) 勤儉の鑑 鍋島閑叟さん 佐賀藩十代藩主 はんぼう存佐賀藩を豊か

(3) 公益の鑑 成富兵庫茂安さん 大目井手を作りか之水を多くため稲の水  
を多くして百姓のためはたういた

二又区に六。町歩の開田

(4) 至孝の鑑 竹離さん 南極崎の人 西親が病身だったのでよく働いて

親孝行をした 南極崎の山に大きな墓をつくる

(5) 節婦の鑑 家の主婦として 姑と夫によくつかえた 藤武節さん

山孝子 山下庄三郎さん (南極崎の人) 両足を失った父をおんぶしてお宮参り

お寺参り 等してよく孝行をした

(6) 川田空之丞 (人のためによく働いた) 美人一人の居る川田空之丞さん

上野で「大きなかめ」を作る許しを殿様からもらった

橋所は水害地帯で米の収量が少いので税金を安くするお願をした

前田伸右衛門 永島の池の内堤を大きくして 大日網手比白沙に水を引く

上野 (玉江堤) を三俵にして 小野原 池の水を引く

川口校長先生の教育の考之

之うい人のお話もきき、それをまねてよい行をする子供に育てる

(三) おつぼ山神社 小学校の運動場の上 (山の中) 鎮西八郎為新を

(四) 八郎神社 小野原橋の所から東の山に登る (山の中) 源み屋を

九月一日「八郎さんのおふん」

(五) おつぼ山神籠石 (おつぼ山を列石が一周している) (八ッ口川沿い)

九州に八ヶ所 瀬戸内海の(四国)山口県にもある

(1) 第二水門 市丸瓦屋さんの上の上... 列石内の雨水を外に流す(かき)

(2) 正門と第一水門

(3) 東門

(4) 土のい... 山の谷は敵が攻めこみ易いので 峰と峰をつなぐ工手を作った

◎ 神籠石を作った目的 列石をつくり上にぼろのようものを作って自然

神域説 列石で区域を作り、中に神様をまつた区域を示した

山城説 列石やていぼうのように作り、敵を防ぐ城にする

(列石の中へ食料や武器 兵士をとめて 敵を攻める)

④ おつぼ山の神籠石を調べて 山城説が正しいことが分かった

⑤ 第一水門の前... 木柱の根が堀り出される

(木柱と列石の上をやぐらを組んだ残り... 敵の攻めこみを防ぐ(山城))

のやぐらや列石の土手！敵兵を防いだ

⑤ いっ頃作ったか？

⑥ 木柱のかんかく門の中などに唐尺(中国唐の時代のものさし)が使われていた  
日本で唐尺が使われた時期などから(七世紀) 625年〜675年

⑦ その頃の歴史 日本は百済を助ける



唐と新羅の連合軍の日本に攻め入るのを防ぐための準備

⑧ 石取り場と石の細工

杵島山の立岩の石 ↓ 百済の石工さんの細工

⑨ ドウサマ墓地(道祖王と橋奈良鷹と奈良の墓)

⑩ 橋諸兄の次子左大臣(太政大臣)藤原仲麻呂には叙がま、が多かつた

⑪ 孝謙天皇の皇太子(道祖王)を皇太子からおろし

自分に都合のよい大炊王を皇太子にする

⑫ 奈良鷹公を討つ許してはいけなさと戦いになる

⑬ 奈良鷹軍破道祖王戦死 ↓ 奈良鷹公道祖王の遺骨を奉じ

九州へ ↓ ドウサマ墓地に道祖王を葬りその墓を守りこいで死ぬ

⑭ ドウサマ墓地と人々の気持

⑮ 長崎街道と郡境石(杵島郡と藤津郡の境の石)

・ 東山の工場下にある

⑯ 神武天皇の石碑(南嶺峠の出店)

⑰ 古墳群代杵島山には外来の豪族が住んでいて ↓ 建借間命の一族

・ 杵島山古墳(昔は...の墓) ↓ 線刻文様の古墳

・ (製鉄技術) 舟のり(特許) ↓ 繁島 ↓ 大炊多氏と...

・ 舟のり陸上に自分達の村をつくって大和へ進出(神武天皇の一族)

・ 朝廷の命令で常陸(茨城県)の賊を平定

那珂の国司となる ↓ 茨城県に住みつく(農業) ↓ 太古墳群

線刻文様 ↑ (太氏の墓)